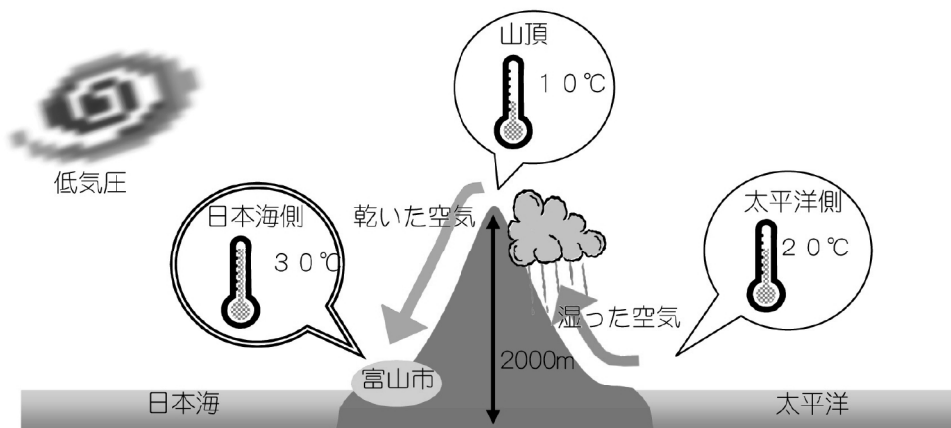


場所	展示室	ゾーン	ワークシートNo.
2階	とやま・空間のたび	山地	24

フェーン現象と富山の地形の関係

富山県の南側と東側には標高1000mから3000mのひょうこう高い山が並んでいます。南風がここを越えるときフェーン現象という独特の気象現象が発生し、暑くなります。

- Q 下の図や展示「富山の気象」を参考にしてわくの中のどちらかの言葉を選びましょう。



乾いた空気は湿った空気よりも、高さによる温度の変化が大きいという性質があります。低気圧が日本海太平洋を通過すると、日本海太平洋側から暖かく乾いた湿った風が低気圧に向かって吹き込む。湿った空気が上昇すると、空気は2000mで10℃上がる。下がる。山頂につくまでに空気にくまられる水分が雨になって落ちると、乾いた空気ができる。これが山頂から反対側に向かって吹きおろすと、空気の温度は2000mで約20℃上がる。下がる。これをフェーン現象という。

※富山の山沿いで降る雪は冬の季節風（北西風）によるものです。雪雲がどうやってできるのかリサーチスポット「水と気象」を見て考えてみましょう。